

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和六年十月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー 53】

《藤目儀三郎》その2

琴弾八幡宮の境内に藤目儀三郎の銅像が建っています。藤目儀三郎は明治時代の教育者でしたが、大正時代は優良清酒・寿老製造元（観音寺）でもありました。校長をしていた時の教え子によってこの銅像が建てられ、台座の碑文には「栗井岩吉・妻、か免乃謹建」とあります。栗井岩吉さん（仮屋町）は藤目儀三郎



◆公園清掃日について◆

午前八時～九時（雨天：10月14日）
今月の清掃日は10月7日です。

琴弾公園の池付近に集合

みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ080-3211-11962

【琴弾公園クイズ66】

琴弾山の山上に「弓張月」の石碑があり、お話の中に白縫姫が夫の仇討ちをしたとありますが、その夫とは？

- ① 源為朝
- ② 源義経
- ③ 源頼朝

を『教育界の逸材：常に高潔、円満、温容の人』と尊敬し、生涯に渡り慕っていました。十五歳（大正二年）で故郷を離れる時に、藤目先生から掛けて貰った「親に心配をかけぬ人たれ」という言葉を常に念頭において過ごし「あらゆる困難に対し藤目先生の教えが心の支えになり生きてこられた。そしてそのおかげで大阪に居を構えることができた」と碑文に書かれています。藤目儀三郎の教育者としての高徳を称えたいと、岩吉さんが七十歳（昭和四十二年）の時に銅像を建立しました。



『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



うれしいお便り4

〔縁〕今年の春先に、ある師匠から観音寺市出身の大関琴ヶ濱が描かれた掛け軸を譲り受けました。その直後に、いいまちづくり観音寺輝き隊通信5月号に出合ったのです。それは琴ヶ濱貞夫特集でした。詳しい知識は無かったのですが、名前だけは何故か年に何度か思い出す事があり気になっていたので、この掛け軸と輝き隊との出会い（縁）に身震いする程の感動を覚えしました。輝き隊の公園清掃のことも初めて知り、今後、清掃活動に参加したいと思っています。

栗井町 川上 喜好



文字数の関係で原文を大幅にカットさせていただきます。ご投稿を本当にありがとうございました。

◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと思っています。